

株主メモ（証券コード：2911）

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告
当社ウェブサイト <https://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株主様へのご優待 保有株式数及び保有期間に応じて下記の基準で自社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

3月31日現在

ご所有株式数	株主優待内容
100株以上	1,500円相当
200株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は6月中旬～を
予定しております。

9月30日現在 3年以上継続保有*

ご所有株式数	株主優待内容
2,000株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は12月中旬～
を予定しております。

*株主名簿の基準日（3月末日及び9月末日）の株主名簿に2,000株以上の保有記録が同一株主
番号で7回以上連続している場合。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇔ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座をお持ちの株主様 ⇔ 特別口座の口座管理機関である
三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第73期報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



Asahimatsu Foods Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第73期報告書（2022年4月1日から2023年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長 木下 博隆



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響を大きく受けてきましたが、同感染症の分類が2023年5月より「5類感染症」に移行する政府方針もあって、行動制限の緩和・解除に向けた動きも見られ、ようやく景気の回復や経済活動の正常化が期待される環境となりました。しかし一方では、ウクライナ情勢に起因する原油価格や原材料価格の高騰、急速な円安の進行などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、世界的な小麦・油脂などの原材料高騰や原油高による包装資材や物流費など各種コストの大幅な上昇に加え、円安の影響も重なって経営環境は一段と厳しい状況となり、価格改定を実施する企業が相次ぎました。今後も更なる物価上昇が懸念され、消費者の節約意識は一層高まっております。また、安全・安心への関心は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも増大しております。

このような状況のなか、経営面では、当社グループでも主要原料である輸入大豆の価格が円安の急速な進行もあり高止まりしております。さらに、電力料や燃料、資材や物流費の高騰など製造コストの急激な上昇も加わって、収益面への影響が深刻な状況となりました。このため、2021年9月に続き2022年10月1日出荷分より凍豆腐の価格改定の再度実施を余儀なくされました。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョン5.1の追加要求事項をクリアするなど、一層の向上を図っております。また、合理化、省エネルギー、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。具体的には、プラスチック削減、紙容器の森林認証素材使用の推進、健康経営優良法人の認定などに継続的に取り組んでまいりました。これらの活動を基に、当社の経営姿勢とSDGsへの取り組みについて第三者機関及び金融機関にて評価を受け、ポジティブ・インパクト・ファイナンスによる融資を受けることができました。なお、新型コロナウイルス感染症への対応については、状況に応じた感染予防対策を講じており、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、営業活動の制限は新型コロナウイルス感染症予防措置緩和により段階的に解除されているものの、売上高は79億3千7百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益面では、引き続き合理化や諸経費の削減などを行ってまいりましたが、原材料やエネルギー価格の急激な高騰などによる製造コスト急増の影響が大きく、営業損失は4千9百万円（前年同期は2億5百万円の利益）、経常利益は2千8百万円（前年同期比89.4%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は投資有価証券売却益を計上したものの、従業員の勤務時間の整理・改善による支払補償金の計上もあり6千8百万円（前年同期は1億9千6百万円の利益）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐】

凍豆腐では、需要が微減傾向にある市場の拡大・活性化を図るべく他メーカーとコラボレーションしたインスタグラムキャンペーンを展開したほか、業界団体と協調し肉様の食感がある元祖大豆ミートとして訴求するPR活動などを行ってまいりました。また、新商品開発面では、需要喚起の一環として2022年10月に、従来のイメージを脱却した斬新な商品形態として、カップにお湯を注ぎ1分で食べられる即食タイプの「TOPURO（トプロ）」や「カップ新あさひ豆腐」を発売しました。しかし、前述の企業努力では吸収しきれない各種コストの大幅な上昇を受け収益面でも厳しい状況となっており、前期に続き、2022年10月1日より2回目の価格改定を実施いたしました。これら値上げによる販売数量減少の影響もあり売上高は前期を下回る35億6千7百万円（前年同期比0.9%減）となりました。なお、海外への展開を目指して、オランダ・フードバレーに加入しワーゲンゲン大学と共同研究を実施してきており、ヨーロッパ人への凍豆腐の健康機能性試験の成果を論文発表いたしました。加えて、2022年12月6日には、オランダ・フードバレーにて、凍豆腐の健康機能性に関するシンポジウム「Kori Tofu scientific study」を開催し、今後の販売につなげるべく広く海外での広報活動を実施いたしました。

【加工食品（即席みそ汁等）】

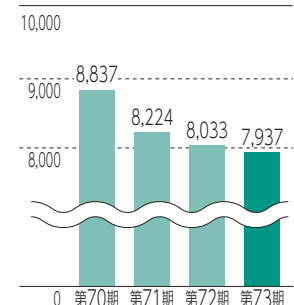
加工食品では、単品収益管理の徹底により不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善を図る一方、好調に推移しているカップ入りタイプのオートミールのアイテムアップなど新商品の発売を強化してまいりました。また、即席カップみそ汁や同スープ関係は主力商品のリニューアルなどを行いましたが定番商品の採用競争は激しく、売上高は23億1千8百万円（同5.4%減）と減少しました。

【その他食料品】

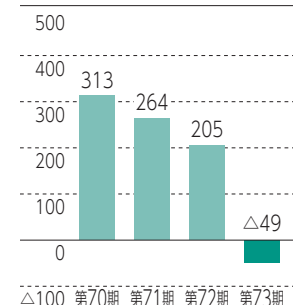
その他食料品では、売上高は20億5千1百万円（同3.4%増）となり、主力の医療用食材や大豆素材の商品が好調に推移いたしました。しかし、この分野でも製造コストが急激かつ大幅に上昇してきており、収益の圧迫を余儀なくされております。そのため医療用食材におきましても、製造コストの上昇を受け2022年10月1日より価格改定を実施しております。

業績の推移（連結）

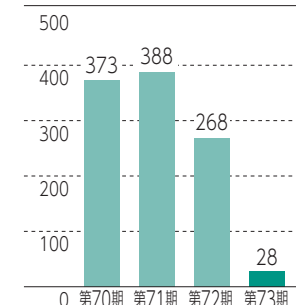
売上高（単位：百万円）



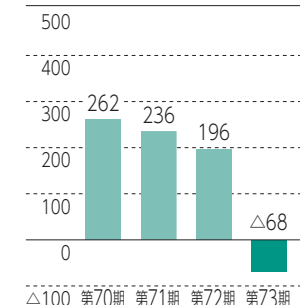
営業利益（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



トピックス

オランダ・フードバレーで高野豆腐の健康機能性を発表 高野豆腐で世界中を健康に！

当社はこれまで、日本人を対象に高野豆腐の健康機能性を研究してきました。2019年からオランダ・フードバレーに加入し、ワゲニンゲン大学との共同研究を続けてまいりました。今回の研究では、ヨーロッパ人に対する高野豆腐の健康機能性を世界で初めて確認しました。

当社は高野豆腐を世界の健康長寿に役立てていただける食品と捉え、引き続きフードバレーに参画して各地にローカライズした食品の開発や普及を行ってまいります。



フードバレーにて Marjoleinさん、Tom医師と対談



今後の方針を説明する木下社長



凍り豆腐の健康機能性メカニズムを説明する石黒副主任研究員

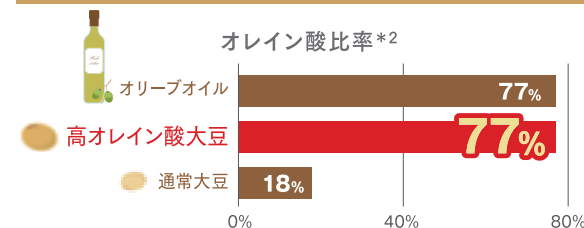
“即食タイプ”の高野豆腐商品 「カップ新あさひ豆腐」新登場！

たんぱく質を、ぎゅぎゅっと手軽に！

即食麺タイプの「カップ新あさひ豆腐」を全国発売いたしました。「カップ新あさひ豆腐」は、和惣菜で人気の高野豆腐の含め煮をより手軽に召し上がっていただけるように開発した商品です。麺タイプカットで食べやすく、熱湯を注いで1分で高野豆腐1枚分（16.5g）を美味しくお召し上がりいただけます。



オレイン酸が通常大豆の約4倍



オリーブオイルの注目成分、オレイン酸*³が通常大豆の約4倍含まれる「高オレイン酸大豆*¹」から製造されています。

*¹ 原材料に使用している大豆は、遺伝子組換えの混入を防ぐため分別生産流通管理を行っています。 *² 脂肪酸総量に占める割合 旭松食品調べ *³ FDA(アメリカ食品医薬品局)限定的健康強調表示 決定的ではないが指示的な科学的な証拠によると、飽和脂肪酸をより多く含有する油脂の代替として、オレイン酸を高濃度含有する油を毎日大さじ約1.5杯分(20g)摂取すると、冠動脈心疾患のリスクを低減できる可能性がある。当該便益の可能性を実現するために、オレイン酸含有油摂取により、1日の総エネルギー摂取量を増加させてはならない。

- ▶ 1食で植物性たんぱく質8.8g！（計算値）
そのうち希少たんぱく質（レジスタントプロテイン）3.0g！
- ▶ 熱湯を注いで1分、
液体調味料を入れて混ぜるだけ
和惣菜で人気の高野豆腐の含め煮をより手軽に！
- ▶ 麺のような細切りの高野豆腐で、
お箸で食べやすい
- ▶ 原料大豆には、環境保全等に配慮した、
グローバルGAP認証取得農場と契約栽培した
高オレイン酸大豆を使用

▶ 連結財務諸表等

・ 連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当連結会計年度 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	4,457,687	4,534,433
固定資産	5,121,988	4,902,195
有形固定資産	4,301,743	4,103,512
無形固定資産	162,816	164,400
投資その他の資産	657,428	634,281
資産合計	9,579,676	9,436,629
負債の部		
流動負債	1,512,422	1,406,514
固定負債	515,361	512,027
負債合計	2,027,783	1,918,541
純資産の部		
株主資本	7,384,541	7,270,648
その他の包括利益累計額	112,044	187,733
非支配株主持分	55,306	59,705
純資産合計	7,551,892	7,518,087
負債・純資産合計	9,579,676	9,436,629

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

・ 連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで
売上高	8,033,637	7,937,689
売上原価	5,741,941	5,874,751
売上総利益	2,291,695	2,062,938
販売費及び一般管理費	2,086,335	2,112,747
営業利益又は営業損失 (△)	205,359	△49,808
営業外収益	76,065	90,355
営業外費用	12,576	12,152
経常利益	268,848	28,394
特別利益	6,231	36,375
特別損失	12,974	93,478
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	262,105	△28,708
法人税、住民税及び事業税	49,010	14,378
法人税等調整額	15,650	24,546
当期純利益又は当期純損失 (△)	197,445	△67,633
非支配株主に帰属する当期純利益	1,206	1,092
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	196,239	△68,725

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

・ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	前連結会計年度 2021年4月 1 日から 2022年3月31日まで	当連結会計年度 2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,363	205,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,441	△28,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600,419	△206,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,170	16,171
現金及び現金同等物の増減額	△80,326	△13,467
現金及び現金同等物の期首残高	925,681	845,354
現金及び現金同等物の期末残高	845,354	831,887

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 会社の概要 (2023年3月31日現在)

商 号	旭松食品株式会社 ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本 店	長野県飯田市駄科1008番地
本 社	大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設 立	1950年12月19日
資 本 金	1,617,844,105円
子 会 社	旭松フレッシュシステム株式会社、 青島旭松康大食品有限公司、 青島旭松康大進出口有限公司
従 業 員 数	グループ人員：319名 当 社 人 員：227名
主な事業内容	大豆加工製品の製造及び販売
主 要 製 品	家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、 即席みそ汁、スープ類、オートミール、 医療用食材等

▶ 株式の状況 (2023年3月31日現在)

①発行可能株式総数	5,680,000株
②発行済株式の総数	1,876,588株
③株主数	3,923名
④大株主（上位10名）	

株 主 名	持 株 数	持株比率
株 式 会 社 八 十 二 銀 行	89,620株	4.88%
木 下 博 隆	55,990株	3.05%
赤 羽 源 一 郎	55,834株	3.04%
佐 々 木 寛 雄	55,205株	3.00%
国 分 西 日 本 株 式 会 社	54,885株	2.99%
藤 徳 物 産 株 式 会 社	54,885株	2.99%
株 式 会 社 大 乾	44,885株	2.44%
株 式 会 社 日 阪 製 作 所	42,600株	2.32%
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	30,000株	1.63%
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	28,400株	1.54%

※当社は自己株式41,675株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 取締役及び監査役 (2023年6月28日現在)

代 表 取 締 役 社 長	木 下 博 隆
常 務 取 締 役 経 営 企 画 部 長	蒲 田 充 浩
常 務 取 締 役 研 究 開 発 本 部 長 兼 研 究 所 長	村 澤 久 司
取 締 役 経 営 管 理 部 長	足 立 恵
取 締 役 生 産 本 部 長	平 澤 公 夫
取 締 役 営 業 本 部 長 兼 西 日 本 支 店 長	牧 野 太 郎
取 締 役 (社外)	浜 村 九二雄
取 締 役 (社外)	小 濱 賢 二
常 勤 監 査 役	寺 岡 義 裕
監 査 役 (社外)	伊 坪 眞
監 査 役 (社外)	狩 野 拓 一

▶ 地域別株主数分布状況

